

【俳句（はいく）に挑戦（ちょうせん）してみよう】

参加しよう

◆俳句を送ってね  
104-8433 朝日小学生新聞  
はじめて俳句係

住所知らないよ  
名前  
〒住所 電話番号  
学校名 学年  
俳句をね  
送ってほしいな夏の空

「おねがい」俳句は必ず自分で作った句を送ってください。ほかの人の句をまわると、作った人の「著作権」という権利をおかすことになりません。



なのはか



だいのこ



塩見先生

季語を使って  
よんでみよう

地面のさけ目からしみ出す水

夏は、このように「泉」がある。これは地面のさけ目からしみ出す水が一定の量をたたえた場所のことだよ。同じような季語で「湧き」と「しみ出す」水が流れている感じ。

今日、紹介するのは岩手県岩手町にある「龍泉洞」だ。秋元洞（山口県）や龍洞（高知県）と並んで、日本の三大鍾乳洞のひとつでもある。広大な地底湖が広がっているが、この水も地元のさけ目からの湧き水、泉といつてよいだろう。ライトアップされると、幻想的な青色の水が見える。色づきのライトではなく、これは水の透明度が高いので青く見えるんだって。昭和年代（1960s）から岩手県の観光資源として紹介された場所だ。天然記念物のコウモリも見える泉。外出がしやすくなったら訪れたいね。

◇季語「泉」（夏）

地面のさけ目からしみ出す水

水も地のさけ目からの湧き水、泉といつてよいだろう。ライトアップされると、幻想的な青色の水が見える。色づきのライトではなく、これは水の透明度が高いので青く見えるんだって。昭和年代（1960s）から岩手県の観光資源として紹介された場所だ。天然記念物のコウモリも見える泉。外出がしやすくなったら訪れたいね。

◇季語「泉」（夏）



幻想的な青い水をたたえる龍泉洞は、総延長約4キロともいわれ、そのうち700メートルが公開中。現在も調査が続く未知の洞くつです—岩手県岩手町、2017年3月撮影 ©朝日新聞社  
◇問い合わせ・龍泉洞事務所0194・22・2566

はじめて  
五・七・五  
俳句

行ってみよう

俳句をよむレシートになるような場所を季語といつしよに紹介するよ。

※夏は夏の季語という意味です。

文 塩見恵介

俳人、甲南中・高（兵庫県芦屋市）国語科教師、同志社女子大俳句講義担当。句集に『虹の趣』『泉こぼ』など。

イラスト・mikpillow

< 5/18 朝日小学生新聞より >

前回（ぜんかい）、俳句（はいく）を紹介（しょうかい）したときに季語（きご）という話（はなし）をしました。

今回（こんかい）は、夏（なつ）の季語（きご）「泉（いずみ）」の紹介です。

夏の季語には、他（ほか）にも次（つぎ）のようなものがあります。

夏の夜 虹（にじ） はえ 夕立（ゆうだち）

清水（しみず） アイスクリーム 汗（あせ）

白玉（しらたま） サイダー 水遊（みずあそ）び

他にも、たくさんあるので、調（しら）べてみてください。